

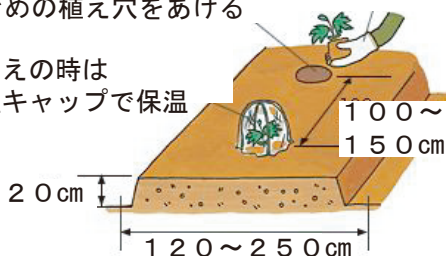
ゴーヤ栽培方法

植え付け4月下旬
5月中旬

1 地こしらえ・植えつけ

根鉢を崩さないように植え付ける。購入苗を植えてもよい
大きめの植え穴をあける

早植えの時は
保温キャップで保温

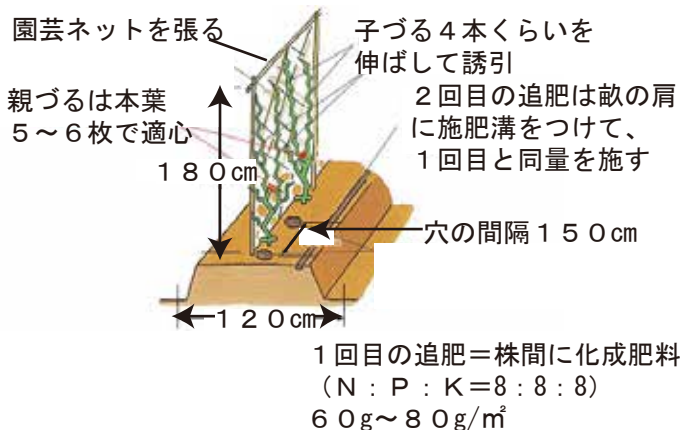


粗起こし
pH調整 ●堆肥 1㎡辺り 2~3 kg
●苦土石灰 1㎡辺り 100~120 g
元肥
●化成肥料 (N:P:K=8:8:8)
1㎡辺り 120~150 g

2 整枝

垣根仕立ては支柱を垂直、またはV字状に立てて、キュウリネットを張り本葉5~6枚で摘芯、子づるを2~3本伸ばし、ネットに誘引します。孫づるは込みすぎた所を間引いて、株全体の日当たりを良くします。

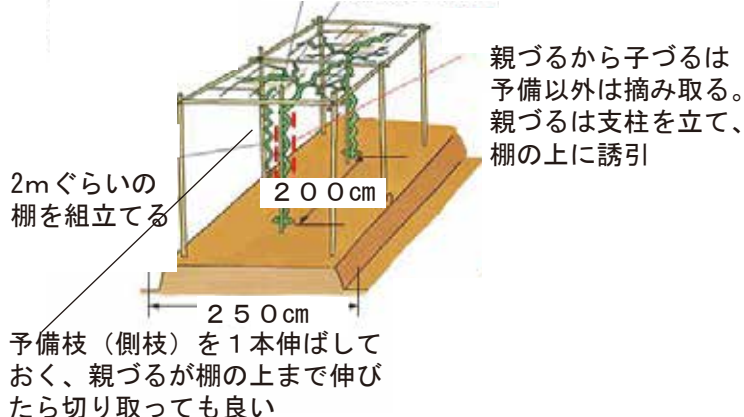
<<垣根仕立て>>



<<棚式水平仕立て>>

着果が見られるようになったら孫づるは適当に間引いて日当たりを確保する

支柱を立て親づるを棚上へ伸ばす
棚の上で子づるを伸ばす。孫づるも伸ばす



3 敷きわら・追肥・水やり

生長に伴い、株元を中心に わらや枯れ草を敷いて畝の乾きを防ぎます。追肥は苗の活着時に400~500倍の液肥を水代わりに与える他、初果の肥大期と収穫最盛期をめどに化成肥料の追肥をするか、液肥を10~15日に1回くらい水やり代わりに施します。乾燥には強いのですが、梅雨明け後 日照りが続いた時は水やりをして、草勢の維持、果実の肥大を促してやります。

4 病害虫の予防

べと虫、疫病などが高温多湿で発生するので防除が必要です。また、アブラムシ、ヨトウムシに対しては、早期駆除を心がけて下さい。



5 収穫

ゴーヤの種類によって変わってきますが、だいたい15~30cmくらいの大きさになったら収穫です。あまり熟してくると実が黄色くなりますので注意して下さい。ゴーヤはひとつの苗に20個以上の実が付く収穫の多い野菜です。

ご相談・ご要望は  ガーデンワークス 電話 079-277-5665